

お手盛りの「議員の年金制度」に

老後が心配だから??

議員のなり手がいないから??

NO!

やっぱり



安心な年金制度にして欲しいのは、議員だけじゃないよね。

Q. 地方議員年金って無くなったんじゃないの?

A. はい。財政が破綻して「制度上は」廃止されました。

Q. 「制度上は」ってどういうこと?

A. 地方議員年金制度を廃止する法律が 2011 年に施行されました。でも、実質的な制度の廃止までには 60 年近くかかると言われています。必要額は1兆 3600億円と試算されます。

Q. どうして 60 年も続くの?

A. 地方議員年金制度が廃止された時点で、すでに議員年金を受給していた人には引き続き議員年金が支給されています。現職議員で議員年金の受給資格のある人(在職 12 年以上の人)も、退職年金または退職一時金を選択できるとされたためです

Q. 地方議員年金の財政は破綻したのに、どうやって年金を支給するの?

A. 毎年自治体が共済会*に負担金(税金)を出し続けています。神奈川県と県内の33市町村の負担金の合計は 28 億9千万円(2015年度)にのぼります。*市議会議員共済会:市議会の議長で組織され、退職年金、退職一時金、公務傷病年金、遺族年金、遺族一時金を支給する

60年続く地方議員年金はどうするんですか?



Q. 「議員年金復活!?!」という報道があったけど、どういうこと?

A. 議長会からは「議員のなり手を増やすために、地方議員が厚生年金に加入できるようにするべき」という声が上がっています。

それで議員のなり手は増えるんですか?



Q. 議員が厚生年金に加入するとどうなるの?

A. 掛金の半額は自治体が支払います。全地方議員が厚生年金に入ると、毎年170億円の税金が必要になります。

議員共済会負担金自治体比較

自治体	議員数	議員報酬(円)	負担金(円)*
県	100	970,000	160,666,500
横浜市	84	953,000	399,217,520
川崎市	58	830,000	275,658,240
相模原市	48	670,000	228,122,440
横須賀市	41	646,000	194,843,480
平塚市	30	502,000	115,050,000
鎌倉市	26	479,000	95,735,120
藤沢市	35	565,000	152,965,800
小田原市	27	475,000	99,430,240
茅ヶ崎市	27	453,000	93,238,600
逗子市	18	439,000	60,774,480
三浦市	14	442,000	47,282,040
秦野市	25	411,350	78,689,000
厚木市	27	452,000	93,238,600
大和市	28	439,000	94,538,080
伊勢原市	21	435,000	70,903,560
海老名市	22	422,000	70,916,560
座間市	21	419,000	67,719,080
南足柄市	16	338,000	41,791,360
綾瀬市	20	398,000	61,425,000
葉山町	14	400,000	31,244,640
寒川町	17	339,000	37,954,920
大磯町	13	315,000	29,027,880
二宮町	14	283,000	30,174,480
中井町	12	254,000	23,142,000
大井町	14	257,000	28,034,160
松田町	12	250,000	23,112,000
山北町	14	255,000	28,034,160
開成町	12	260,000	24,029,280
箱根町	14	306,000	31,244,640
真鶴町	11	242,000	20,345,160
湯河原町	13	320,000	29,027,880
愛川町	15	340,000	33,491,400
清川村	10	246,000	19,260,000
計	873		2,890,328,300

*準報酬月額×4月1日現在の議員数(実数)×12カ月×政省令で定める負担金率で算出される
*その他共済会の事務経費年額約3億円を全国自治体負担

すでに、24道県議会*で、地方議員を厚生年金にできるように国に法整備を求める意見書が可決されています。市議会議長会(市議会の議長が参加する全国連合組織)から各議会の議長あてに、同様の要望を12月議会で決議し国などに提出するよう要請が出されています。この動きに対して、神奈川ネットはあらためて「NO!」の声をあげています。

*24道県議会(北海道、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、石川、愛知、滋賀、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、愛媛、高知、長崎、大分、鹿児島、沖縄)



お手盛りの 「議員の年金制度」に

やっぱり
NO!

あなたは、どう思いますか？

アンケート

「議員の年金制度」について意見をお聞かせください。

●QRコードからアクセス→
●ファックスでのご返信も OK! FAX:045-651-2081



該当するものに○を付けてください。

問1 あなたが加入している年金制度に対して、将来の不安はありますか

1. ある 2. ない 3. わからない

(その理由: _____)

問2 2011年まで、地方議員の年金制度があったのはご存知でしたか

1. 知っている 2. 知らなかった

問3 議員年金を支給するために、各自治体は多額の負担をしており、実質的な制度の廃止までに約60年かかると言われています。このことをご存知ですか？

1. 知っている 2. 知らない

問4 地方議員が厚生年金に加入できるようにするなど、議員のための新たな年金制度が検討されていますが、どう思いますか？

(※議員が厚生年金に加入する場合、保険料の半額を自治体が負担します)

1. 賛成 2. 反対 3. どちらとも言えない

(その理由 _____)

問5 かつての地方議員年金の受給権利を保障したままで、新たな議員の年金制度ができれば、自治体（市民）は二重の税負担を強いられます。このことについてどう思いますか？

1. 賛成 2. 反対 3. わからない

問6 「議員の年金」に対してご意見があればお書き下さい。

*以下の記入もお願いします。

お住まい：市町村名 () 年齢 ()

ありがとうございました。